

Artesyn Embedded Technologies、OTT ネットワークアプリケーションと WebRTC ゲートウェイのサポートを拡張

PCI Express サーバーアクセラレータカードが *Opus* および *SILK* オーディオコーデックのサポート開始

米国アリゾナ州テンピ - 2014 年 4 月 14 日 - 元エマソン社ネットワークパワー事業部の組み込みコンピューティングおよび電源事業の [Artesyn Embedded Technologies](#) は、最新のオーディオコーデックを PCI Express メディア処理アクセラレータカード、先日ブランド名称変更した [SharpMedia™ PCIE-8120](#) に組み込むことで、OTT (over the top) ネットワークサービスおよび WebRTC ゲートウェイなどのアプリケーションの大規模展開をサポートすることを、本日発表しました。

Artesyn™ SharpMedia PCIE-8120 により、ネットワーク機器プロバイダは、サーバーの追加や、アプリケーションパフォーマンスの低減の問題なしに、少ないスペース、少ない電力および少ないコストで、高密度で拡張性の高い音声および動画処理を、ネットワークアプリケーションに追加できます。PCIE-8120 に Opus (WebRTC により使用) および SILK (Skype により使用) オーディオコーデックのサポートを含めることにより、Artesyn は、ネットワークアプリケーションプロバイダがコスト効果の高い拡張可能な方法で、開発や展開の期間を短縮する支援を行います。

Opus と SILK は、オープンソースかつロイヤルティフリーのオーディオコーデックで、インターネット経由でインタラクティブにスピーチや音楽を伝送するように設計されていますが、アプリケーションの保管やストリーミングにも適しています。VoIP、ビデオ会議、ゲーム内チャット、リモートライブミュージック演奏などのさまざまなオーディオアプリケーションをサポートします。

「これらのコーデックの追加は、弊社がイノベティブな製品ラインを開発継続していくことを明確に示すもので、新技術をこのアプリケーション分野に導入するという弊社のコミットメントを示しています。」と、Artesyn Embedded Technologies サーバーアクセラレータ部門マーケティング部長の Linsey Miller は述べました。「我々は WebRTC ベースの展開で最大の相互運用性を確保するために、IETF で起きている必要なビデオコーデックについての議論を積極的にモニターしています。

Artesyn Embedded Technologies について

Artesyn Embedded Technologies は、通信、コンピューティング、医療、航空宇宙、工業などの各種業界向け高信頼性電源と組み込みコンピューティングソリューションの設計と製造で世界をリードしている企業です。40 年以上にわたって Artesyn は、コスト効果の高い先進ネットワークコンピューティングおよび電力変換器ソリューションにより、お客様の開発期間短縮やリスク軽減を支援し、信頼され続けてきました。Artesyn の本社は米国にあり、9か所の COE (中核研究拠点)、5 か所のワールドクラスの製造工場、世界各国でのグローバルなセールス&サポート拠点などを有し、世界各国で 20,000 人以上の従業員が働いています。

Artesyn Embedded Technologies, Artesyn, SharpMedia および Artesyn Embedded Technologies のロゴは Artesyn Embedded Technologies の商標とサービスマークです。他のすべての製品名およびサービス名は、それぞれの所有者の資産です。© 2014 Artesyn Embedded Technologies.

メディアお問い合わせ先:

Alice Hui

+852 2176 3548

Alice.Hui@artesy.com